Vol.62　オーギュメントのアルペジオを弾いてみる　～その 1～

『10 分トレ』vol.62、始めていきましょう。

今回は『Xaug』コードのアルペジオを弾いて行きます。

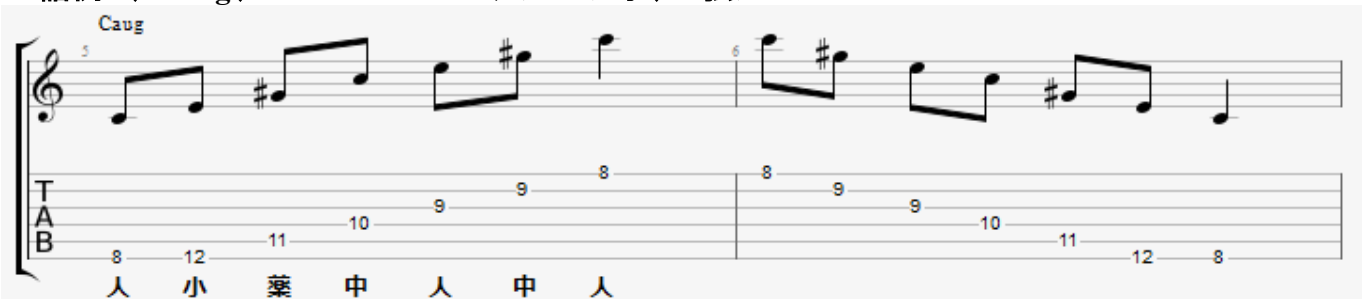
『オーギュメント(もしくはオーグメント)』は、一般的にはあまり馴染みが無いコードだと思いますが、作曲やアレンジをしっかり勉強した人が作った楽曲では普通に出てきたりします。

とりあえず、使い方を説明すると話が長くなるので、ここではギター演奏での基本的な動きを覚えてしまいましょう。

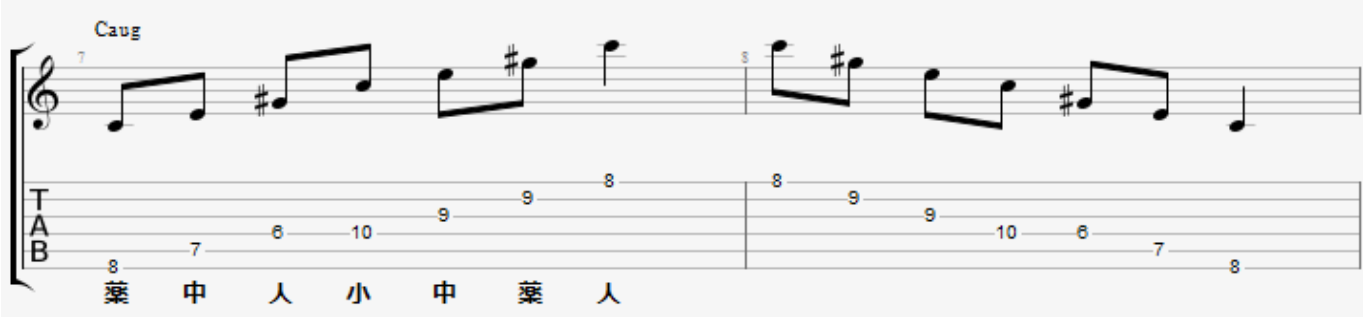
活用法に興味がある人は、理論書には大体事例が載っていますし、ネットで検索してもある程度詳しい説明が出てくると思うので、先にそちらを見ておいてください。
(※僕の発信でも、その内どこかでやると思いますが)

では、今回はトニックを C 音に設定して『Caug』コードのアルペジオを弾いてみましょう。

譜例 1、Caug、コードトーン・アルペジオ、6 弦ルート 1

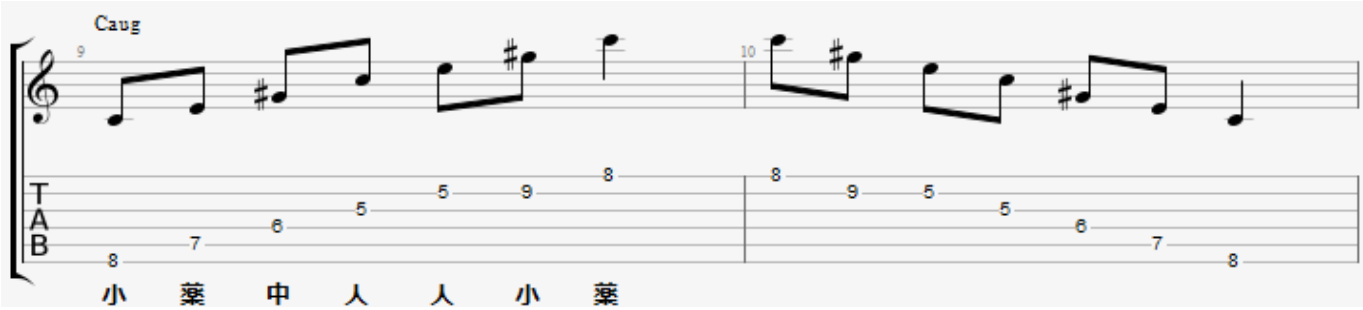


譜例 2、Caug、コードトーン・アルペジオ、6 弦ルート 2



譜例 3、Caug、コードトーン・アルペジオ、6 弦ルート 3

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved



指使いは参考として載せています。

このアルペジオを、そのままフレーズとして使っても良いですし、どこかでバラしたり、指板を横に移動するようにポジションを動いても良いですね。

ちなみに、使い方の一例としては、ハーモニックマイナーのダイアトニックコードの中に、♭Ⅲ aug(♭IIIaugM7)があるので、マイナーキーの楽曲のⅤ 7 の上などで使えたりします。

※ハーモニックマイナースケールのダイアトニックコード

Ⅰ mM7
Ⅱ m7(♭5)
♭Ⅲ augM7
Ⅳ m7
Ⅴ 7(♭9)
♭Ⅵ M7
Ⅶ dim7

例えば Am キーの楽曲での E7 の上だったり、そもそも A ハーモニックマイナーモードで作られている曲(や範囲)があれば、今回の Caug のアルペジオが使えますね。

細かい活用法を話せば色々と出てきますが、まずは基本を押さえておきましょう。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved